

## 沖縄公庫、うるま市のPFI事業に対しLOI（関心表明書）を发出

沖縄振興開発金融公庫（理事長：川上好久、以下「沖縄公庫」）は、令和3年4月6日、うるま市が実施する「勝連城跡周辺整備事業」に対し、LOI（Letter Of Intent：関心表明書）を发出しました。

勝連城跡周辺整備事業は、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）に基づき、同市が実施する初めての事業（以下「PFI事業」）です。勝連城跡は、2000年（平成12年）に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして世界遺産に登録され、年間18万人の観光客が訪れる沖縄県内でも有数の観光スポットです。本事業では、勝連城跡一帯を文化・観光の拠点として位置付け、文化・観光の振興を通して地域活性化に資する複合的な機能を集約させたエリアの創出を目指し、創造性に満ちた施策の展開による勝連城跡の活用を図ること等を目的としています。「勝連城跡」、「文化観光施設」、「勝連城跡公園」の3施設が効果的に連動し、周辺一帯の誘致力の強化と滞在時間の延長を図るため、「通過型」から「滞在型」の観光地への転換に向けた複合的文化観光拠点を整備し、県東部の新たな観光拠点としていくことを目指しています。

沖縄公庫では、同市のように県内市町村が先駆的にPFI事業に取り組むことで、沖縄県内におけるPPP/PFIの普及に弾みが付くことを期待しています。

沖縄公庫は、「沖縄地域PPP/PFIプラットフォーム」の事務局として、今後も民間金融機関や関係支援機関と連携しながら、PPP/PFI分野に関する地方公共団体等の取組みを積極的に支援してまいります。

※LOI（Letter Of Intent：関心表明書）とは

LOIとは、金融機関等が当該事業への関心、融資検討の実施について表明する文書のことで、あくまでも融資を確約するものではありません。沖縄公庫は、沖縄における唯一の総合政策金融機関として公民連携を支援する融資制度（沖縄自立型経済発展）を取り扱っております。また、民間の資金やノウハウを活用した社会資本整備手法であるPPP/PFIの推進・普及等に向けて、「沖縄地域PPP/PFIプラットフォーム」の運営等により県内における普及・啓蒙活動や関係者間の相互連携強化に努めているほか、プロジェクトの構想段階より、公平・中立的な立場から助言や関係者間の調整などを行う「トータルソリューション」の提供により、事業化を支援しています。そのため、沖縄公庫は入札検討中の事業者からPPP/PFI事業に対する見方を問われることが多く、PPP/PFIを推進する政策金融機関の立場として、その姿勢等を幅広く対外的に発信することを目的に、LOIを发出しています。

## &lt;お問い合わせ先&gt;

融資第一部地域振興班 伊集：098-941-1787  
業務統括部業務企画課 渡慶次：098-941-1740



本件に該当する SDGs